

福崎町制60周年記念 井上通泰生誕150年記念展

# 井上通泰展

## ～歌を詠み愛した眼科医～

会期 11月27日(日)まで

入館無料

今年、柳田國男の兄、井上通泰が生誕150年を迎えます。  
記念館では「井上通泰展」を開催しています。医者、歌人、国文学者として活躍した通泰の業績を、関連資料とあわせて紹介しています。ぜひご覧ください。



表札



扇面

(松岡父子ら寄せ書き)



徳利とお猪口

通泰  
はろふきうも  
ふけーるらら  
くしうふれ  
杜のやまも  
ふく甲も



11歳の頃の手習本



井上通泰(57歳)

### ◆講演会のお知らせ◆

10/15(土) 「井上通泰の華麗な人脈」

講師▶石井正己さん

11/5(土) 「井上通泰と南天荘同人会」

講師▶井上舞さん

※いずれも13:30から神崎郡歴史民俗資料館2階で。

# 記念館新聞



福崎町立  
柳田國男・松岡家記念館  
〒679-2204

神崎郡福崎町西田原

1038の12

電話：0790-22-1000

南天荘同人会の結成  
前号でも紹介しましたが、通泰は「南天荘」と号し、門人とともに、歌の研究を重ねていきました。そして、明治43年(1910)に、「南天荘同人会」を発足しました。この会の前身になったものは、通泰の自宅にもうけられた、「歌学研究会」です。「南天荘同人会」は、通泰を師とし、歌道や古典学の教えを受ける人たちの集まりでした。会員は、東京を中心に、姫路や岡山のほか、全国に広がり活動しました。



☆☆入館案内☆☆

☆開館時間

9時～16時30分  
(入館は16時まで)

☆休館日

月曜日、祝日の翌日  
12月28日～1月4日

☆入館料

無料



『南天荘月報』 姫路文学館蔵

この「南天荘同人会」に関する資料は、『年報』と『月報』があります。『年報』には、入門内規が記されています。『月報』には、通泰の近詠や同人消息、各地方の会の詠草、通泰の健康状態などが記されています。主な活動は、講義と課題による歌会でした。講義では『万葉集』や古典の講釈が行われ、この成果がのちに、『万葉集新考』として刊行されました。



日本ではじめて開催された日韓共同学術会議

また、2日目には第3回柳田國男検定を実施し、上級編には8名が合格されました。  
8月6日・7日・8日に、第37回山桃忌をエルデホールで行いました。今年、福崎町制60周年と井上通泰生誕150年を記念し、3日間にわたり開催しました。従来のおおしである式典・講演会・シンポジウム・神楽上演に加え、3日目には日韓の民俗学者が研究成果を発表する会議が行われ、多彩なもおしとなりました。連日多くの皆さんにご参加いただき、盛況のうちに終わることができました。

### 山桃忌を終えて

今年、福崎町制60周年と井上通泰生誕150年を記念し、3日間にわたり開催しました。従来のおおしである式典・講演会・シンポジウム・神楽上演に加え、3日目には日韓の民俗学者が研究成果を発表する会議が行われ、多彩なもおしとなりました。連日多くの皆さんにご参加いただき、盛況のうちに終わることができました。

### 館日記

